

ひとり親家庭の支援強化策を

ひとり親家庭の平均年間就労収入は父子世帯では約400万円であるが母子世帯では約200万円であり、母親だけで仕事・育児をする母子家庭にとって、町の支援は大変に重要となり、町の政策によっては、ひとり親家庭の生活は大変かわってくる。

近年、ひとり親家庭では、コロナ禍での収入の減少、物価の高騰により日々の生活に厳しい影響を受けている。国からの支援だけではなく、自治体の子育て・生活支援の強化、また、経済格差が教育格差に影響を与える現状においては、その解決のために学習支援をはかるべきと考える。よって以下のことを問う。

- 1 自立促進や疾病等、また家事のサービス等のひとり親家庭等日常生活支援事業の充実政策の強化を。
- 2 学習支援の強化や学校外教育サービス利用助成の政策を。
- 3 ひとり親家庭等に対する相談支援の充実を。